

トスフロキサシントシル酸塩錠 75mg 「NP」

トスフロキサシントシル酸塩錠 150mg 「NP」

【この薬は？】

販売名	トスフロキサシントシル酸塩錠 75mg 「NP」 TOSUFLOXACIN TOSILATE TABLETS	トスフロキサシントシル酸塩錠 150mg 「NP」 TOSUFLOXACIN TOSILATE TABLETS
一般名	トスフロキサシントシル酸塩水和物 Tosufloxacin Tosilate Hydrate	
含有量 (1錠中)	75mg (トスフロキサシンとして51mg)	150mg (トスフロキサシンとして102mg)

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、ニューキノロン系経口抗菌製剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、細菌の増殖に必要な酵素を阻害することにより、殺菌作用を示します。
- ・次の病気の人に処方されます。

<適応症>

- 表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管・リンパ節炎、慢性膿皮症、ざ瘡（化膿性炎症を伴うもの）
- 外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、乳腺炎、肛門周囲膿瘍
- 骨髄炎、関節炎
- 咽頭・喉頭炎、扁桃炎（扁桃周囲膿瘍を含む）、急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器病変の二次感染

- 膀胱炎、腎盂腎炎、前立腺炎（急性症、慢性症）、精巣上体炎（副睾丸炎）、尿道炎
- 胆嚢炎、胆管炎
- 感染性腸炎、腸チフス、パラチフス、コレラ
- バルトリン腺炎、子宮内感染、子宮付属器炎
- 涙嚢炎、麦粒腫、瞼板腺炎
- 外耳炎、中耳炎、副鼻腔炎、化膿性唾液腺炎
- 歯周組織炎、歯冠周囲炎、顎炎
- 炭疽

<適応菌種>

トスフロキサシンに感性のブドウ球菌属、レンサ球菌属、肺炎球菌（ペニシリン耐性肺炎球菌を含む）、腸球菌属、淋菌、モラクセラ（ブランハメラ）・カタラーリス、炭疽菌、大腸菌、赤痢菌、サルモネラ属、チフス菌、パラチフス菌、シトロバクター属、クレブシエラ属、エンテロバクター属、セラチア属、プロテウス属、モルガネラ・モルガニー、プロビデンシア属、コレラ菌、インフルエンザ菌、緑膿菌、バークホルデリア・セパシア、ステノトロホモナス（ザントモナス）・マルトフィリア、アシネトバクター属、ペプトストレプトコッカス属、バクテロイデス属、プレボテラ属、アクネ菌、トラコーマクラミジア（クラミジア・トラコマティス）

- ・この抗菌薬は自己判断で飲むのを止めたり、飲む量を減らしたりしないでください。指示どおりにきちんと飲まない、治療効果が低下するばかりでなく、原因菌がこの薬の効かない菌に変化したり、他の抗菌薬も効かなくなったりする可能性があります。医師の指示どおりに飲むことが大切です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・過去にトスフロキサシントシル酸塩錠「NP」に含まれる成分で過敏症のあった人
 - ・妊婦または妊娠している可能性がある人（ただし、炭疽、コレラの患者を除く）
- 次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。
 - ・腎臓に高度の障害のある人
 - ・てんかんなどのけいれん発作をおこすことがある人、または過去にてんかんなどのけいれん発作をおこしたことがある人
 - ・重症筋無力症の人
 - ・大動脈瘤や大動脈解離のある人、過去に大動脈瘤や大動脈解離のあった人、大動脈瘤や大動脈解離のあった人が血縁にいる人、大動脈瘤や大動脈解離の危険因子（マルファン症候群など）のある人
 - ・高齢の人
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。
- 大動脈瘤や大動脈解離のある人、過去に大動脈瘤や大動脈解離のあった人、大動脈瘤や大動脈解離のあった人が血縁にいる人、大動脈瘤や大動脈解離の危険因子（マルファン症候群など）のある人は、画像検査が行われることがあります。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量と回数は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。
通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

〔骨髄炎、関節炎、腸チフス、パラチフス以外の感染症〕

販売名	トスフロキサシントシル酸塩錠 75mg 「NP」	トスフロキサシントシル酸塩錠 150mg 「NP」
1回量	2錠	1錠
飲む回数	1日2～3回	

重症又は効果不十分と判断された場合、1日量 600mg を2～3回に分けて飲みます。

〔骨髄炎、関節炎〕

販売名	トスフロキサシントシル酸塩錠 75mg 「NP」	トスフロキサシントシル酸塩錠 150mg 「NP」
1回量	2錠	1錠
飲む回数	1日3回	

重症又は効果不十分と判断された場合、1日量 600mg を3回に分けて飲みます。

〔腸チフス、パラチフス〕

販売名	トスフロキサシントシル酸塩錠 75mg 「NP」	トスフロキサシントシル酸塩錠 150mg 「NP」
1回量	2錠	1錠
飲む回数	1日4回 14日間	

除菌を確実にするため14日間服用することが必要です。

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・大動脈瘤、大動脈解離があらわれることがあるので、腹部、胸部、背部に痛みなどの症状があらわれた場合は、ただちに受診してください。これにより画像検査が行われることがあります。
- ・授乳を中止してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください。重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
ショック ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失
アナフィラキシー アナフィラキシー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸（どうき）、息苦しい
中毒性表皮壊死融解症（TEN） ちゅうどくせいひょうひえしゆうかいしょう（テン）	皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、発熱、粘膜のただれ
皮膚粘膜眼症候群（Stevens-Johnson 症候群） ひふねんまくがんしょうこうぐん（ステーブンス-ジョンソンしょうこうぐん）	発熱、目の充血やただれ、唇や口内のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する
痙攣 けいれん	顔や手足の筋肉がぴくつく、一時的にボーっとする、意識の低下、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える
意識障害（意識喪失等） いしきしょうがい（いしきそうしつなど）	意識の低下、意識の消失
急性腎障害 きゅうせいじんしょうがい	尿量が減る、むくみ、体がだるい
間質性腎炎 かんしつせいじんえん	発熱、発疹、関節の痛み、吐き気、嘔吐（おうと）、下痢、腹痛、むくみ、尿量が減る
腎性尿崩症 じんせいにようほうしょう	尿量が増える、喉が渇く、多飲
肝機能障害 かんきのうしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、体がかゆくなる
無顆粒球症 むかりゅうきゅうしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
血小板減少 けっしょうばんげんしょう	鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい
偽膜性大腸炎等の血便を伴う重篤な大腸炎 ぎまくせいだいちょうえんなどのけつべんをともしゅうじゅうとくなだいちょうえん	腹痛、血の混ざったゆるい便が出る、ゆるい便が出る、発熱、頭痛、吐き気、冷汗が出る、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、お腹が張る、激しい腹痛、下痢、嘔吐（おうと）、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色）
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	咳、息切れ、息苦しい、発熱
好酸球性肺炎 こうさんきゅうせいはいえん	発熱、咳、息切れ、息苦しい

重大な副作用	主な自覚症状
横紋筋融解症 おうもんきんゆうかいしょう	手足のこわばり、手足のしびれ、脱力感、筋肉の痛み、尿が赤褐色になる
低血糖 ていけつとう	お腹がすく、冷汗が出る、血の気が引く、疲れやすい、手足のふるえ、けいれん、意識の低下
大動脈瘤 だいどうみやくりゅう	声がれ、食べ物や水が上手く飲み込めずむせる、息苦しい、食べ物が飲み込みにくい、腹痛、胸の痛み、背中の痛み
大動脈解離 だいどうみやくかいり	激しい腹痛、激しい胸の痛み、激しい背中の痛み
末梢神経障害 まつしょうしんけいしょうがい	手足のしびれ、手足の痛み、手足の感覚がなくなる、手足の力が入らない、物がつかみづらい、歩行時につまずく
アキレス腱炎、腱断裂等の腱障害 アキレスけんえん、けんだんれつなどのけんしょうがい	アキレス腱の痛み・はれ、歩行障害、注射した指の関節を曲げにくい、注射した指の関節を伸ばしにくい、注射した指の関節が曲がらない
精神症状(幻覚、せん妄) せいしんしょうじょう(げんかく、せんもう)	実際には存在しないものを存在するかのように感じる、軽度の意識混濁、興奮状態、幻覚、妄想

同類薬(他のニューキノロン系抗菌剤)であられる、特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。この薬でもあられる可能性があります。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあられることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。


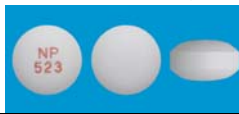


重大な副作用	主な自覚症状
重症筋無力症の悪化 じゅうしょうきんむりょくしょうのあつか	まぶたが重い、まぶたが下がる、物がだぶって見える、筋肉の疲労感、食べ物が飲み込みにくい

以上の自覚症状を、副作用のあられる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷汗が出る、発熱、ふらつき、出血が止まりにくい、突然の高熱、寒気、疲れやすい、けいれん、顔や手足の筋肉がぴくつく、脱力感、むくみ、体がだるい、体がかゆくなる、力が入らない
頭部	めまい、意識の消失、意識の低下、一時的にボーっとする、頭痛、実際には存在しないものを存在するかのように感じる、軽度の意識混濁、興奮状態、妄想
顔面	顔面蒼白(そうはく)、鼻血、血の気が引く
眼	目の充血やただれ、まぶたが重い、まぶたが下がる、物がだぶって見える、白目が黄色くなる、物がつかみづらい、幻覚
口や喉	咳、吐き気、唇や口内のただれ、喉のかゆみ、歯ぐきの出血、喉の痛み、食べ物が飲み込みにくい、嘔吐(おうと)、喉が渇く、多飲、声がれ、食べ物や水が上手く飲み込めずむせる

部位	自覚症状
胸部	息切れ、息苦しい、動悸（どうき）、胸の痛み、激しい胸の痛み
腹部	腹痛、お腹がすく、食欲不振、激しい腹痛、お腹が張る
背中	背中での痛み、激しい背中での痛み
手・足	手足が冷たくなる、手足のふるえ、手足の筋肉が硬直しガクガクと震える、アキレス腱の痛み・はれ、歩行障害、注射した指の関節を曲げにくい、注射した指の関節を伸ばしにくい、注射した指の関節が曲がらない、手足のこわばり、手足のしびれ、関節の痛み、手足の痛み、手足の感覚がなくなる、手足の力が入らない、歩行時につまずく
皮膚	円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、皮膚が広い範囲で赤くなり、破れやすい水ぶくれが多発、粘膜のただれ、全身のかゆみ、じんま疹、あおあざができる、発疹、皮膚が黄色くなる
筋肉	筋肉の疲労感、筋肉の痛み
便	血の混ざったゆるい便が出る、ゆるい便が出る、下痢、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色）
尿	尿が赤褐色になる、尿量が減る、尿量が増える、尿の色が濃くなる

【この薬の形は？】

販売名	トスフロキサシントシル酸塩錠 75mg 「NP」	トスフロキサシントシル酸塩錠 150mg 「NP」
形状	フィルムコーティング錠 	フィルムコーティング錠 
PTPシート		
直径	7.1mm	8.6mm
厚さ	3.8mm	5.1mm
重さ	150.0mg	298.0mg
色	白色	白色
識別コード	NP-522	NP-523

【この薬に含まれているのは？】

販売名	トスフロキサシントシル酸塩錠 75mg 「NP」	トスフロキサシントシル酸塩錠 150mg 「NP」
有効成分	トスフロキサシントシル酸塩水和物	
添加物	L-アスパラギン酸、トウモロコシデンプン、結晶セルロース、ヒドロキシプロピルセルロース、ステアリン酸マグネシウム、含水二酸化ケイ素、ヒプロメロース、マクロゴール、酸化チタン、タルク、カルナウバロウ	

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

発売会社：ニプロ株式会社 (<http://www.nipro.co.jp/>)

医薬品情報室

電話：0120-226-898

受付時間：9時～17時15分

（土、日、祝日、その他弊社休業日を除く）